



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
 コード番号 2454 URL <http://corp.allabout.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CAO (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	10,772	5.4	△41	—	△69	—	△49	—
30年3月期第3四半期	10,219	40.8	509	100.1	507	111.8	345	217.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △44百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 364百万円 (317.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△3.76	—
30年3月期第3四半期	25.93	25.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	5,189	3,815	67.0	265.01
30年3月期	5,554	3,909	64.4	273.35

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 3,476百万円 30年3月期 3,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	4.7	0	△100.0	△50	—	△45	—	△3.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）—、除外 一社 （社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	13,569,900株	30年3月期	13,533,700株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	451,198株	30年3月期	451,158株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	13,099,394株	30年3月期3Q	13,308,454株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費の回復は足踏み状態が続いております。また、海外の政治・経済動向などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状態で推移しております。

このような環境下で当社グループは、「メディア広告&ソリューション」「トライアルマーケティング&EC」「生涯学習」「グローバル」「C to C」「ウェルネス」「クラウドソーシング」「デジタルコンテンツ」といった8つの領域を中期的な注力領域とし、それぞれの領域に対しWEBとリアルの両面から最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,772百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業損失は41百万円(前年同四半期は営業利益509百万円)、経常損失は69百万円(前年同四半期は経常利益507百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は49百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益345百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、当連結会計年度において、オンラインゲーム事業を営むファイブスターズゲーム株式会社の全株式を売却した事により連結の範囲から除外しており、売上の減少要因となりました。利益面につきましては、利益率の高いプログラマティック広告売上の減少や、人件費の増加が影響しました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの売上高は2,452百万円(前年同四半期比12.3%減)、セグメント利益は184百万円(前年同四半期比68.8%減)となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、「サンプル百貨店」におけるサンプル商品の拡充と会員数の増加に注力したこと、また、前第2四半期連結会計期間より損益を取り込んでおりますファッションECサイト「MUSE&CO.」の売上貢献もあり、売上高は前年同期に比べて堅調に推移しました。

一方で、滞留在庫の削減に向けた施策等により限界利益が低下したこと、また、人件費や外注費、システム費用の増加等の影響により減益となりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの売上高は8,320百万円(前年同四半期比12.1%増)、セグメント利益は64百万円(前年同四半期比66.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ713百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が210百万円、その他が153百万円増加した一方、現金及び預金が982百万円、受取手形及び売掛金が97百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ348百万円増加いたしました。これは主にソフトウェアが50百万円、投資有価証券が67百万円、差入保証金が149百万円、繰延税金資産が92百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円減少いたしました。これは主に買掛金が123百万円増加した一方、未払費用が107百万円、未払法人税等が193百万円、未払消費税等が60百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は74百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が16百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を49百万円計上したこと及び65百万円の配当実施により利益剰余金が114百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、コンシューマサービスセグメントの売上高及び限界利益が計画を下回る見込みとなったため、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成31年2月7日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,550,966	1,568,517
受取手形及び売掛金	1,549,483	1,452,442
商品及び製品	328,339	538,352
未成制作費	3,992	17,956
前払費用	44,196	41,663
その他	77,510	230,545
貸倒引当金	△5,355	△13,980
流動資産合計	4,549,133	3,835,497
固定資産		
有形固定資産		
建物	139,927	138,184
減価償却累計額	△62,378	△70,450
建物(純額)	77,548	67,733
工具、器具及び備品	169,213	150,643
減価償却累計額	△120,574	△102,593
工具、器具及び備品(純額)	48,638	48,049
有形固定資産合計	126,187	115,783
無形固定資産		
のれん	76,078	76,520
ソフトウェア	358,644	409,275
ソフトウェア仮勘定	39,228	30,734
その他	522	522
無形固定資産合計	474,474	517,053
投資その他の資産		
投資有価証券	56,625	124,152
関係会社株式	48,606	59,549
破産更生債権等	2,192	2,192
長期貸付金	4,000	17,270
差入保証金	169,823	319,806
繰延税金資産	100,440	192,704
その他	25,091	25,129
貸倒引当金	△2,072	△19,342
投資その他の資産合計	404,706	721,463
固定資産合計	1,005,368	1,354,300
資産合計	5,554,501	5,189,797

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	869,553	993,213
1年内返済予定の長期借入金	4,693	—
未払金	8,540	13,330
未払費用	320,126	213,067
未払法人税等	195,233	1,379
未払消費税等	64,884	4,611
前受金	13,332	11,974
預り金	38,812	29,645
賞与引当金	11,220	6,043
その他	27,362	26,936
流動負債合計	1,553,758	1,300,202
固定負債		
長期借入金	16,930	—
退職給付に係る負債	33,198	34,075
資産除去債務	38,100	38,100
その他	2,601	2,132
固定負債合計	90,830	74,308
負債合計	1,644,589	1,374,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,222	1,206,806
資本剰余金	2,198,537	2,206,121
利益剰余金	882,602	767,944
自己株式	△704,278	△704,335
株主資本合計	3,576,084	3,476,536
新株予約権	7,651	7,344
非支配株主持分	326,176	331,406
純資産合計	3,909,912	3,815,287
負債純資産合計	5,554,501	5,189,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	10,219,866	10,772,866
売上原価	5,094,734	5,660,375
売上総利益	5,125,132	5,112,491
販売費及び一般管理費	4,615,778	5,153,876
営業利益又は営業損失(△)	509,353	△41,385
営業外収益		
受取利息	457	637
受取配当金	500	500
その他	3,918	1,716
営業外収益合計	4,875	2,853
営業外費用		
持分法による投資損失	5,256	29,056
投資有価証券評価損	1,481	1,432
その他	462	687
営業外費用合計	7,200	31,176
経常利益又は経常損失(△)	507,028	△69,708
特別利益		
新株予約権戻入益	35	271
関係会社株式売却益	13,530	37,463
固定資産売却益	1,000	—
特別利益合計	14,565	37,734
特別損失		
固定資産除却損	1,285	6,019
減損損失	—	61,422
事務所移転費用	13,870	—
その他	760	1,243
特別損失合計	15,916	68,685
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	505,677	△100,660
法人税、住民税及び事業税	88,071	22,156
法人税等調整額	53,189	△78,801
法人税等合計	141,260	△56,645
四半期純利益又は四半期純損失(△)	364,417	△44,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,329	5,230
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	345,088	△49,245

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	364,417	△44,015
四半期包括利益	364,417	△44,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,088	△49,245
非支配株主に係る四半期包括利益	19,329	5,230

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号 平成30年1月12日)等を平成30年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,794,967	7,424,899	10,219,866	—	10,219,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,644	—	41,644	△41,644	—
計	2,836,612	7,424,899	10,261,511	△41,644	10,219,866
セグメント利益	591,846	191,662	783,508	△274,154	509,353

(注) 1. セグメント利益の調整額△274,154千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,452,155	8,320,710	10,772,866	—	10,772,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46,868	—	46,868	△46,868	—
計	2,499,024	8,320,710	10,819,735	△46,868	10,772,866
セグメント利益又は損 失(△)	184,740	64,576	249,316	△290,702	△41,385

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△290,702千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

コンシューマサービスセグメントにおいて、一部の事業について当初想定していた収益が見込めなくなったため、当該事業に係るソフトウエア、のれんについて減損を認識するに至りました。また、同セグメントにおいて、今後の使用が見込まれない一部のソフトウエアについて減損を認識するに至りました。その内訳は、ソフトウエア41,597千円、のれん19,825千円であります。